

# くろかわらばん

平成30年3月発行 第28号



精神科作業療法で作った作品です

\*\*\*\*\*病院理念\*\*\*\*\*

私たちは地域の方々に愛され  
安心して利用できる病院を目指します

\*\*\*\*\*

な い よ う

- 2P 「統合失調症」について
- 3P 地域連携室からのお知らせ
- 4P 認知症疾患医療センター通信
- 5P すたでい
- 6P 外来診療案内・めっせーじ

今号は特集第4弾「統合失調症を患った本人に対してご家族ができること」としまして臨床心理士本間友美から紹介いただきます。



### 《家族の接し方で再発率は大きく変わる》

統合失調症の再発を防ぐには、服薬を継続することが大切ですが、実はそれと同じくらいに家族の接し方が大切であることを知っていましたか？家族の接し方によってどれくらい再発率が違うかと言うと、良い接し方をした場合の再発率が13%に対して、悪い接し方をした場合は51%にまで上ります。なんと約4倍もの差が、家族の接し方によって生じてくるのです。そして、悪い接し方をした上に、本人と家族との接する時間が長いと再発率はさらに上がり、69%にまで及んでしまうのです。つまり、統合失調症を患った本人さんのために、家族ができることは“良い接し方をする”ということなのです。



### 《高EE家族とは・・・》

EEとは、感情表出（Expressed Emotion）のことであり、感情表出が強い家族のことを高EE家族と言います。そして、この高EE家族は、統合失調症を患った本人にとって悪い接し方をしてしまいやすい家族であると考えられています。高EE家族の特徴としては、

- ①批判的言動が多い
  - ②本人に対する敵意がみられる
  - ③情緒的に巻き込まれている（過保護・過干渉、自己犠牲的な献身、強すぎる思い入れ）
- が認められていることが挙げられます。また、家族内に1人でも高EEの人がいるだけでも本人にとってストレスを感じ、再発し易い状態になってしまいます。そして、この高EE家族の所に本人が退院した場合、上記でも述べたように、再発率が、良い接し方をする家族の場合の4倍にもなってしまいます。

家族としては、本人の為に良かれと思ってやっているのだと思います。ですが、それが実は本人にとってストレスとなっていることも多いのです。本人の為に思って、口うるさく言ったり、お説教したり、本人の心に土足で踏み込んでいたりする事は、本人の安全感や居場所を奪ってしまい、かえってストレスを高めて、再発率を上昇させてしまうのです。

### 《どう接すればいいの？》

それでは統合失調症を患った本人の為に、家族はどうやって接するのがいいのでしょうか？それには、

- ①過干渉にならないように気をつけて本人がやれること・出来る力を認める。
- ②本人と長時間かかわる事を避けて家族も自分の時間を持つ。
- ③否定的な言い方・厄介者扱い・プライドを傷つける言い方を避ける。

ということが大切になってきます。つまり、本人の出来ることは自分でやってもって家族は手出しをしない、何か本人してもらったら「ありがとう」「助かったよ」という感謝の言葉を忘れない、適度な距離を保って家族も自分の時間を大切にする、本人に対して穏やかな気持ちで接するように気をつける、ということです。

ただ、いきなりこのような対応に変えるのは大変だと思います。なので、まずは少しずつ、家族のためにも、本人のためにも、このような接し方を心掛けてみてはいかがでしょうか。

参考文献：『統合失調症-その新たなる真実-』岡田尊司 PHP研究所 2010年  
『統合失調症の人の気持ちがわかる本』伊藤順一郎、NPO法人地域精神保健福祉機構（監修） 講談社 2009年

# 地域連携室からのお知らせ

こんにちは 黒川病院地域連携室です。今回は、当院がお手伝いさせていただいた事例をご紹介します。なお、個人情報保護のため、実際の事例をもとに再構成しています。

50代 男性 統合失調症



40代初め、事実ではないことを頻繁に言うようになりました。しだいに自分の部屋から出てくるのが少なくなり、大きな声を出すことが多くなりました。本人の様子を心配した家族が本人を連れて当院を受診し、そのまま入院となりました。本人40代後半の頃でした。

それから10年ほど入院生活を送り、少しずつ落ち着きを取り戻し、穏やかに過ごすことが多くなりました。本人や家族、病院スタッフとで仕事やお金、服薬、退院先などについて何度も話し合いました。退院先などで地域生活支援センターの相談員にも協力してもらいました。退院前訪問指導で本人と病院スタッフ（看護師・作業療法士・精神保健福祉士）で施設を見学しました。体験入所などを経て障害福祉サービス事業所（宿泊型自立訓練）へ入所することになり、退院となりました。退院の準備として、病院スタッフと一緒に家具や電化製品などを買って出かけたりのしました。施設で充実した生活を送り、「退院してよかった」と本人は話しています。



50代 女性 統合失調症

アパートで独り暮らしをしていた40代のころ、住んでいたアパートの住民とトラブルになり、役場の保健師や保健所の職員が関わり当院に入院となりました。ほぼ1年の入院生活のあと、アパートへ退院し、ホームヘルパーや家族の援助を受けながら生活をしていました。

退院1年半後、具合が悪くなり、2回目の入院となりました。薬を飲んでいなかったとのことでした。入院後しばらくして落ち着きが見られてきました。退院先を考えていくにあたり、本人や家族、病院スタッフ（看護師・作業療法士・精神保健福祉士）で何度も施設を見学に行きました。地域生活支援センターの相談員にも協力してもらい、グループホームに入所することができました。入所後は、当院のデイケアを利用しながら、グループホームで生活を送っています。

お問い合わせ



0254 (47) 2422

【代表】 黒川病院 地域生活支援課 地域連携室





# 認知症疾患医療センター通信

Vol.11



2月は連日の大雪による除雪！除雪！！除雪！！！春が待ち遠しいですね。本年も、認知症の方やご家族、地域の方にとって身近に感じられる温もりのあるセンターを目指し、活動していきたいと思えます。



## 胎内市 認知症講演会

平成29年12月16日



胎内市との共催で、“認知症の人の思いから始めるまちづくり”と題し、今年度はNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」でも放映されるなど、全国的に注目を集める神奈川県藤沢市の小規模多機能施設「あおいけあ」代表の加藤忠相さんをお迎えし、ご講演頂きました。

またシンポジウムでは、当院の河内学看護部長がシンポジストとして登壇し、認知症とともに地域で暮らす・地域で見守るをテーマに、精神科病院の立場から発表を行いました。当日は297名の参加があり、加藤さんの優しい人柄が垣間見られた講演会にほっこりされつつ、大盛況に終わることができました。



H29年12月13日

### 「認知症のお薬について」

薬剤師より、実際の薬をみてもらいながら、効果や副作用などについてお話をさせて頂きました。当日は3名の方にご参加頂きました。

現在は認知症の薬もいくつか種類があることから、一つ一つの違いを参加者の方にとって頂く良い機会になったと思えます。



H30年2月14日

### 「介護食について」

当日は大雪で足元の悪く、2名の参加があり、管理栄養士よりお話をさせて頂きました。

実際に介護食にも用いられるトロミ剤を使い、どの程度固まるのか、参加者の方々に体験もしてもらいました。食事中にむせこむ方や飲み込む力が衰えてきた方には、トロミ剤等を上手く活用していきたいですね。



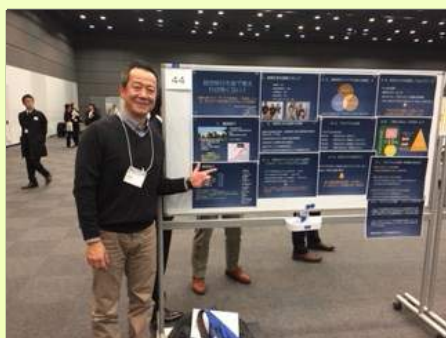
### ～ お知らせ ～

認知症疾患医療センターは認知症の専門医療機関です。物忘れ外来の受診予約や入院、認知症に関する相談など、担当の相談員がお話を伺います。秘密は厳守されます。まずはお気軽にご相談ください

またセンターでは、来年度も認知症カフェや認知症介護教室、認知症講演会等を予定しています。詳細は随時、院内ポスターやセンター通信等でご案内させて頂きますので、興味のある方は是非ご参加ください。

お問合せ先：（黒川病院内）認知症疾患医療センター 医療相談員：宮下・伊藤・渡邊・脇川  
☎0254-47-2640 ※平日午前9時～午後5時まで

す た ぐ い



# 就労支援 フォーラム NIPPON

皆さんこんにちは。黒川病院の地域生活支援課で働いている作業療法士の門脇と申します。今回は毎年12月に東京にて開催されている就労支援フォーラムに参加する機会がありましたのでレポートいたします。

就労支援フォーラムは当事者や企業をはじめ、医療・福祉・行政・労働など様々な分野の方々が1,500人程集まり、障がい者の就労支援について自分たちの取り組みについて発表を行ったり、それぞれの立場から意見を交換する2日間となっています。

私は1日目のナイトセッションに参加させていただき、当院のデイケアにおける就労支援プログラムの取り組みについてポスター発表を行ってきました。発表を行なった後は全国からいらっしゃった方々から様々なご意見を頂きました。2時間という長丁場で立ちっぱなし・喋りっぱなしでしたが、ありがたいことに最後まで私のホワイトボードの前から人が途切れることはほとんどなく、時間一杯までご質問やご意見をいただけたことにつきましては今後の私たちの活動にたくさんの元気をもらうことができました。

また機会があれば参加してみたいと思いました。



日本精神科看護協会 末安会長(右)と中野専務理事(右から2番目)からも応援していただきました

# 外来診療案内

## 精神科担当医

月	火	水	木	金	土
宮本	関野	宮本	関野	関野	※ ・関野 ・宮本 ・松井
	松井	小熊	松井	小熊	

## 内科担当医

	吉田				
--	----	--	--	--	--

診療科 : 精神科 内科 歯科  
 診察日 : 月～金  
           土(第1・第3)  
           ※歯科は木曜休診です  
 休診日 : 土・日・祝祭日  
 受付時間 : 午前8時30分  
           ～ 午前11時まで  
 診療時間 : 午前9時から  
           (診療は午前のみ)

出張等により変更となる場合がございます。※は第1・第3土曜のみです。

# めっせーじ



この度、広報委員の任期が終了しました吉村と申します。広報委員会発足から今まで作成にたずさわりました。黒川病院の情報を地域の方々にもっと知ってもらいたいと作成してまいりました。また、作成するにあたりパソコンでの編集・構成のスキルが向上したと思います。4月からは現在の委員に加え、新しい委員が入ります。今後とも黒川病院から情報を発信させていただきますので、よろしくお願いいたします。

# 編集後記

今年は各地で記録的な大雪になりました。まだまだ寒い日は続きそうですが、体調管理をしっかりと毎日健康に過ごしていきましょう。私も今年から広報委員のメンバーとなりましたので、日々健康に気を使って活動していきたいと思います。(R. A)

発行：医療法人白日会 黒川病院  
 〒959-2805  
 新潟県胎内市下館字大開1522番地  
 電話：0254-47-2422  
 FAX：0254-47-3181  
<http://www.hakujitsukai.com>